

風

かぜ

カゼ 2003.11-17発行No. 63

◇ことしの報恩講法要妙記

天気予報では一週間前から雨でした。予報通り十日当日は雨でした。その上月曜日と重なりましたので、参詣者の数が心配でした。しかし、有り難いことに例年より多くの門信徒さん達にお参りいただきました。若い方の出席もあり嬉しく思いました。賑々しくそして厳粛に修行されましたことをお知らせいたします。本年のご法話は山田義俊師にお取次ぎをしていただきました。お正信偈の中にある

「帰」の文字(4箇所有り)を基に浄土真宗の教えの要を身近な問題に置き換えてのご教示でした。

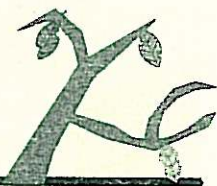
「帰」には深い意味があり、「まかせる」「真実」「安心」の意が包含されているとのこと お正信偈を読むときよく味わって下さい。新たな世界が展開されることでしょう

◇ご本堂に音の調べが

ご法事の前後とか寺の行事の際、仏教讃歌を主に雅楽とか心を癒す曲を試みとして現在音を流しています。BOSEのPD150ですが音がよく期待に答えてくれてます。好評です。機をみて聴いてください

◇今月の安楽寺伝道掲示板

お念仏との
出遇いは
己との出遇い



105-0014

〔京都港区芝1-12-18

安楽寺

03-3451-1509